

＜令和7年度 予防接種に関する一覧表＞

定期 任意	ワクチンの種類		接種に関する説明		標準的な接種期間	接種がさだめら れている年齢	大島町で接種できる場所
定期	小児用肺炎 球菌ワクチン (7レブナー-20) 20価 (不活化ワクチン)	1回目 2回目 3回目	1回目～3回目までの接種間隔は それぞれ4週間以上おいて	生後2・3・4ヵ月 に1回ずつ	生後2ヵ月～ 5歳未満	※大島町では、予防接種は 個別接種となっていますの で、個々に予約をとり指定さ れた日時に下記医療機関で接 種してください。 大島医療センター 小児科 【接種日時】 祭日を除く毎週水曜日 【予約】 (2) 2346 ※1週間前までに要予約	
		追加接種					3回目接種後60日以上おいて、かつ生後12ヵ月 (1歳)以降に追加接種(0歳では受けません)
定期 (不 活 化 ワ ク チ ン)	DPT・IPV・Hib 五種混 合	1期 初回	ジフテリア、百日せき、破傷風、 急性灰白髄炎(ポリオ) Hibの 混合ワクチンです。 第1期初回20日以上の間隔をおいて	生後2・3・4ヵ月 に1回ずつ	生後2ヵ月～ 90ヵ月		
		3回目					1期追加
定期	B型肝炎 ウイルス (不活化ワクチン)	1回目 2回目 3回目	B型肝炎ウイルスに感染すると慢性肝炎、肝硬変、 肝臓がんなどの恐れがあるので、ワクチンによる 予防が重要です。H28年10月1日より定期接種と なりました。	4週以上の間隔で2回接 種、さらに1回目の接種か ら20週以上の間隔をおい て1回接種。 (生後2ヵ月～8ヵ月)	生後2ヵ月～ 1歳未満		
定期	ロタウイルス (生ワクチン)		乳幼児期に重症化しやすいロタウイルス胃腸炎と その合併症を予防します。ロタリックス(1価、2 回)とロタテック(5価、3回)の2種あります。 生後2ヵ月からの同時接種がおすすめです。 R2年10月より定期接種となりました。	初回接種は14週6日ま でに開始、4週以上の 間隔をおいて2・3回 経口接種	生後6週～ 24週(1価) 32週(5価)		
定期	BCG (生ワクチン)		平成17年の結核予防法改正により、ツベルクリン 反応検査を廃止し、BCGの直接接種になりました。 また、平成25年4月より、乳児期の予防接種 スケジュールが過密になっていることを考慮し、 標準的接種期間を右記年齢へ変更しました。	生後5ヵ月～ 8ヵ月未満	1歳に至る までの間に ある者		個別接種になりました 大島医療センター 小児科 第3水曜 13:15厳守 1週間前までにTEL(2)2346へ要予約
定期	麻しん 風しん (MR) (生ワクチン)	第1期	麻しんと風しんの混合ワクチンです。 1歳から2歳の間に麻しんに感染する可能性が高い ので、1歳になったらなるべく早く接種しましょ う。免疫レベルを維持するために、2期接種も忘れ ずに受けましょう。	生後12ヵ月～生後24ヵ月に なるまでの期間			大島医療センター 小児科 【接種日時】 祭日を除く毎週水曜日 【予約】 TEL(2)2346
		第2期		5歳以上7歳未満の者であって小学校 就学前の1年間(保育園年長児)			
定期	水痘 (水ぼうそう) (生ワクチン)	1回目 2回目	●平成26年10月1日より定期接種となりました。 ●一般に軽症ですが、重症化したり死亡する例も あるので接種しておきましょう。2回接種すること で早期に十分な免疫をつけることができます。	生後12ヵ月から生後 15ヵ月になるまでの期間 1回目接種終了後6ヵ月～ 12ヵ月の間隔をあけて (最低3ヵ月以上)	生後12～ 36ヵ月未満		※任意接種は自己負担です。 島の医療機関でも、 接種できます。

＜令和7年度 予防接種に関する一覧表＞

定期 任意	ワクチンの種類			接種に関する説明	標準的な接種期間	接種がさだめら れている年齢	大島町で接種できる場所
任意	おたふくかぜ (生ワクチン)			1歳から接種可能です。 1回の接種でも免疫は獲得できますが、より高める ために、WHOおよび日本小児科学会は2回接種を 推奨しています。任意ですが、大島町では対象者 のみ全額助成しています。	1回目：生後12ヵ月～ 24ヵ月に至るまでの間	MR第1期・ 第2期と 同時期	大島医療センター 小児科 【接種日時】 祭日を除く毎週水曜日 【予約】 TEL (2) 2346
					2回目：5歳以上7歳未満の者 であって小学校就学前の 1年間（保育園の年長児）		
定期	日本 脳炎 (不活 化)	1 初 期回	1 回目	日本脳炎は潜伏期間7～10日、突然の高熱、頭 痛、嘔吐、意識障害およびけいれん等を主徴とす るウイルス性の急性脳炎です。感染者100～ 1,000人に1人が脳炎等を発症すると考えられて います。 日本脳炎ウイルスは人から直接ではなく、ブタな どの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され 感染します。ヒトからヒトへの感染はありませ ん。東南アジアおよび東アジアに広く分布し、患 者が多発しています。日本でも年間10人程度発症 しています。	3歳に2回 (6日～28日の間隔を おいて)	生後6～ 90ヵ月に 至 るまでの間 にある者	<予防接種をお知らせする時期> ■生後2ヶ月ころ（新生児訪問） 肺炎球菌、五種混合、B型肝炎、ロタウイルス、 BCG ■1歳のお誕生日ころ MR（麻しん風しん）第1期、水痘（水ぼうそう） ※おたふく（1回目）：任意接種のため窓口申請 ■3歳のお誕生日ころ 日本脳炎第1期初回1・2回および第1期追加 ■年長組進級時 MR（麻しん風しん）第2期 ※おたふく（2回目）：任意接種のため窓口申請 ■小学3年生（9歳のお誕生日前） 日本脳炎第2期 ■小学6年生 DT二種混合 ■中学校1年生女子（4月ごろ） 子宮頸がん（HPVワクチン）
			2 回目		4歳に1回 (2回目接種後6ヵ月以上、 おおむね1年あけて)		
		1期追加			9歳に1回		
		2 期					
定期	二種混合（DTジフテリア） 破傷風			五種混合の追加免疫です。免疫レベルを維持する ために接種しましょう。	11歳～12歳	11歳～ 13歳未満	☆予防接種のお知らせは、住民基本台帳にある世 帯主と対象となるお子様（二名連名）宛に送って います。 ☆母子手帳をご確認いただき、接種していない方 で通知が来ない場合は、お手数ですがご連絡下 さい。 ☆定期予防接種の予診票は、福祉けんこう課けん こう係で一括管理しています。ご不明な点は、お 気軽にお問合せ下さい。
定期	子宮頸がん (HPV) ワクチン (不活化ワクチン)	2価ワクチン		●平成25年6月に開催された厚生科学審議会 予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、 薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策調査 会において、「ワクチンとの因果関係を否定 できない持続的な疼痛が、HPVワクチンの接 種後に特異的に見られたことから、副反応の 発生頻度等がより明らかになり、国民に適切 な情報提供ができるまでの間、定期接種を積 極的に勧奨すべきでない」とされ、厚生労働 省により積極的な接種勧奨の一時差し止め になりましたが、令和4年4月より再開となりま した。 ※ワクチン接種ご希望の方は、有効性とリス クをご理解の上、接種するようお願いいた します。	13歳となる日の属する年 度の初日から当該年度の末 日まで 【サーバリックス】1ヶ月の 間隔をおいて2回接種後、1 回目の接種から6ヵ月の間隔 をおいて1回接種 【ガーダシル】2ヵ月の間隔 をおいて2回接種した後、1 回目の接種から6ヵ月の間隔 をおいて1回接種 【シルガード9】2ヵ月の間 隔をおいて2回接種した後、 1回目の接種から6ヵ月の間 隔をおいて1回接種15歳未 満は1回目の接種から6ヵ月 の間隔をおいて1回接種	12歳となる 日の属する年 度の初日から 16歳となる 日の属する年 度の末日まで	
		4価ワクチン					
		9価ワクチン					
任意	インフルエンザワクチン (不活化ワクチン) 新型コロナワクチン (mRNAワクチン)			生後6ヵ月から接種可能です。 流行が気になる前の10月・11月頃に2回接種する ことをお勧めします。		生後6ヵ月～	※任意接種は自己負担です。島外の医療機関でも 接種できます。

複数のワクチン（生ワクチン含む）を同時に接種して、ワクチンの有効性、副反応の頻度に影響はないとわかっています。また、同時接種できるワクチンの本数に原則制限はありません。

★異なる種類のワクチンを接種する際の接種間隔のルールが一部変更されています。詳しくはホームページをご覧ください。

福祉けんこう課 けんこう係（2）1482